

第3回 練馬区立平和台保育園運営業務委託事業者選定委員会 会議要点記録

日 時：平成21年9月13日（日） 午前9時～午前12時20分
場 所：開進第一小学校大会議室
出席者：学識経験者2名、有識者2名、区立保育園園長経験者1名
児童青少年部長、保育課長、事務局
オブザーバー：平和台保育園保護者1名

1. 応募事業者プレゼンテーション

運営業務委託プロポーザルに応募の2事業者からのプレゼンテーションを、1事業者あたり20分間受け、その後に質疑応答を20分間行った。

なお、平和台保育園の保護者14名の参観があった。

＜質疑応答＞（2事業者共通の質問のうち保護者からの質問）

質問1 保育士が継続して、安定して勤務するための取り組みは何か。

A事業者応答 担当制で役割意識を持たせる。職員が園の改善点を考え、全体で話し合う。職員と面談し、悩みなどを聞く。

B事業者応答 職員は正職員雇用・生涯雇用とし、職員が安心して保育に集中できる環境を作る。モチベーションを高めるために、きちんとした研修体制やミーティングの機会を増やし、保育士が互いに成長を指摘しあう場を設ける。

質問2 園長は選考調査する園からくるか。保育士は既存園から何人異動してくるか。

A事業者応答 園長は既存園の園長が異動。職員は何人既存園から異動するかは未定。

B事業者応答 園長はアドバイザーとして法人と関わっている人。園長の下に、実務統括責任者として副園長を設置。副園長は法人が運営する認証保育所の園長が異動。職員は既存園から3～5人異動の予定。

質問3 保育で大切に思うことを優先順位が高いものから順に。

A事業者応答 ①家庭的な雰囲気の中でいきいきと活動する②一人ひとりを大切に見守る③地域の子育てを支援していく。

B事業者応答 ①子どもの利益を最優先に、安心・安全な環境を届ける。②保護者

の子育てのバックアップ。保護者と一緒になって子どもの成長を喜べることが大切。

質問 4 受託した場合、どのような保育をしていくか。

A 事業者応答 平和台保育園の保育を継続していく。

B 事業者応答 練馬区の高い保育水準をキープすることが大切。

質問 4 応募した理由は何か。

A 事業者応答 公設民営で受託した実績があり、ノウハウ・実績で貢献できると考えた。

B 事業者応答 練馬区の保育水準に共感した。受託することにより法人の保育に深みが持てると考えた。保育界全体で質を高めるために、法人が練馬の高い保育水準を吸収し、まわりの区市町村との橋渡しができると考えた。

質問 5 引継ぎに当たってどのような心構えで臨むのか。対応策は何か。

A 事業者応答 保護者・園児の不安をなくしていく。現在の平和台保育園の非常勤を採用する。職種別に引継ぎを行う。

B 事業者応答 引継ぎにあたっては、園長・副園長・主任・クラスリーダー、計 10 名を配置する。法人として保育に関する思いはあるが、練馬区の保育とすりあわせをしたい。引継ぎの時間は練馬区の保育の習得・信頼関係を作る時間とする。それ以外の時間に毎日ミーティングを行い、職員全体で共有していく。

2. 園長予定候補者等ヒアリング

応募の 2 事業者について、ヒアリングを 40 分間（園長予定候補者のアピール 10 分・質疑応答 30 分）行った。

以 上